

Lockheed Martin社 宇宙セミナー

Lockheed Martin社 宇宙部門Space Systems Company (LMSS) の調達部門の担当者が来日した機会をとらえ、9月16日及び17日に我が国の宇宙関連企業とのセミナー及びB to Bミーティングが実施されたので概要を報告する。

日本側の参加者は、経済産業省宇宙産業室、JAXA（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）、そして産業界からは日本電気（NEC）、IHIエアロスペース（IA）等の23社及び当工業会（SJAC）を含め、総勢62名となった。

1. 宇宙セミナー

LMSSのBuono氏（写真1）と経済産業省の恒藤宇宙産業室長（写真2）より、今回の宇宙セミナーにより情報交換を進め、サプライチェーンの強化等のwin-win関係につなげていきたいとの挨拶が行われた。

また、当工業会の山北常務理事（写真3）より日本の宇宙産業に関する概要を説明し、我が国は多くの優秀な宇宙機器産業を有していると紹介した。

LMSS側からの発表の概要は下記の通り。

(1) Lockheed Martin社の従業員は112,000人で、そのうち56,000人がエンジニアである。米国を中心に約70カ国に500カ所以上の施設

を持つ。

(2) 部門はAeronautics（航空機）、Information Systems & Global Solutions（情報）、Missiles & Fire Control（ミサイル）、Mission Systems & Training（艦船等）、Space Systems（宇宙）、International（国際）の6部門がある（写真4）。

(3) Space Systems Company（宇宙部門）は米国内13州に工場や拠点をもち、今回のメンバーはコロラド州デンバーとカリフォルニア州サニーバールから来日した。宇宙部門の中もStrategic & Missile Defense、Civil Space、Military Space、Commercial Space、Advanced Technology Center、Special Programsに分かれている。

(4) 宇宙機器は一般的に、複雑な設計であり、大きな投資が必要で、設計・製造及びミッション期間も長いといった特徴がある（写真5）。



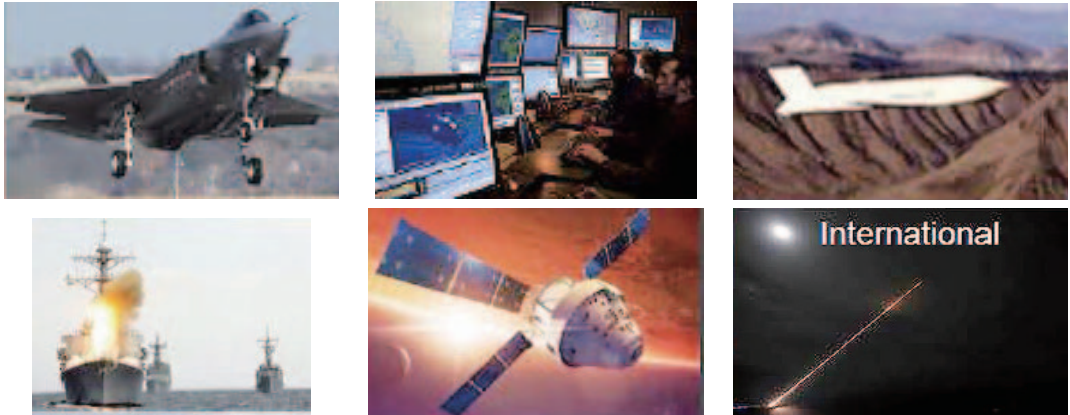
写真1 LMSS・Buono氏



写真2 経済産業省・恒藤室長

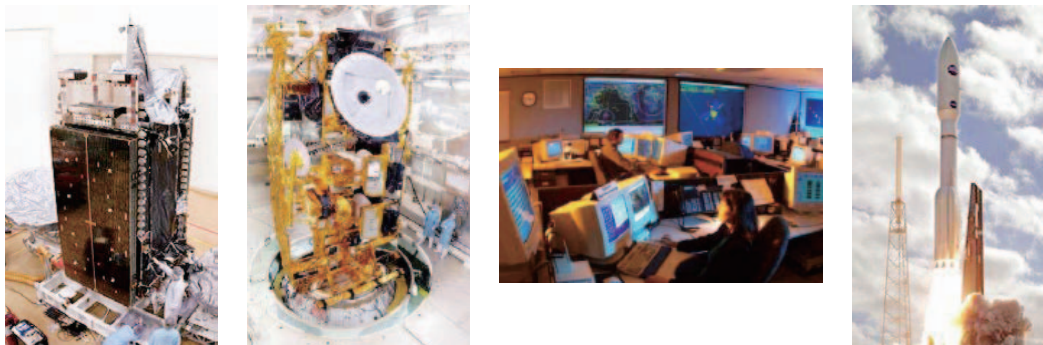


写真3 SJAC・山北常務理事



(出典：LM社)

写真4 LM社の6部門



(出典：LM社)

写真5 宇宙機器例

(5) 調達 (Supply Chain)

宇宙機器の部品調達は、通常、金額換算でプログラムの50%~60%になる。また、調達先の29%は中小企業である。(2013年ベース)

従って、下記項目で日本企業とも協力関係の機会がある。

- ・人工衛星のバスやペイロードコンポーネント
- ・地上システム、ミッションデータ処理／解析
- ・組立試験等

重要視される項目は、下記の通り。

- ・技術経験
- ・製品の成熟度、飛行実績、品質／性能
- ・価格／納期

2. 質疑

LMSS社の説明の後に質疑応答を行った。主な内容は下記。LMSS社ウェブサイトにおける具体的な企業登録方法、使用すべき標準化などに関する質問の他、次のような質疑応答があった。

(1) 政府調達の衛星などで、Buy American (米国製品優先) は無いのか？

⇒ (回答) 以前はBuy Americanがあったが、政府予算が厳しくなり、価格が優先される状況である。

(2) Military Programで、特別に要求される事項は無いのか？



写真6 セミナーの質疑応答

⇒（回答）MilitaryもCivilもCommercialも要求事項は同じである。

があるが、今回の情報を帰国後LMSS社内の専門家に展開していきたい。」との感想があった。

3. B to Bミーティング

今回のセミナーでは商売に繋がる、より具体的な情報交換を行うために、興味を持っている日本企業とLMSS社間でB to Bミーティングを行った。LMSS社からは、「多くの分野で日本の優れた技術、製品の情報を紹介してもらった。すぐに使用できる可能性のあるもの、使用のためには少し改修や研究が必要なもの

4. 所感

宇宙大国の米国内で既に出来上がっているLMSS社のサプライチェーンではあるが、LMSS社は一層の改善を目指していると思われる、今後の日米のwin-win関係の発展の可能性を感じた。

〔(一社)日本航空宇宙工業会 技術部 (宇宙担当) 宇治 勝〕